



豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第109号 R6. 1. 17

大阪大学留学生との国際理解学習 ～東能勢中学校より～

12月4日に東能勢中学校で大阪大学留学生6名と9年生が交流を行いました。留学生の出身国や地域は、ケニア、ロシア、台湾、バングラデシュ、インドネシア、カナダでした。普段豊能町で接することが少ない国や地域からの来町で9年生はとても楽しみにしながら、準備も抜かりなく進めてきました。

当日の学習では、9年生はものおじせず、留学生からの質問に即興で答えていました。小学校からALTの先生と英語で話すことの積み重ねで、英語でコミュニケーションをとることに抵抗を感じない中学生の姿がありました。

前半は、中学生が豊能町の魅力的なところを写真などでわかりやすく留学生に伝えていました。留学生は、それぞれの国や地域について紹介していました。

後半は、体育館で英語を使って「じゃんけん列車」や「けいどろ」の遊びをしました。また、留学生の国や地域の遊びを中学生と留学生が一緒にしていました。

9年生は英語でルールを一生懸命に説明したり、留学生の遊びを聞いたりして、自然と英語を話したり聞いたりする環境に身を置くことにより、英語を学習する意味を肌で感じたことと思います。



アイスブレیکن
グとして留学生に
インタビュービン
ゴをしています。



留学生が地図を示
して母国の紹介を
しました。



中学生がタブレット
を使って豊能町の紹
介をしました。



みんなで「じゃんけん列車」
をしました。



HAPPY TREE ～吉川中学校生のイイところ発見～

吉川中学校では、生徒の自己有用感を高める取り組みとして、教職員が生徒の良いところを発見し、教職員同士そして生徒とも共有することを行っています。その方法は、日頃の生活の中にある「イイところ」を発見した教職員が、葉っぱカードに記入し、職員室の木の枝にのり付けして貼ります。その葉っぱカードを見て生活指導担当教職員が詳しい話を記入者に聞き取り、まとめた内容を生徒指導通信に載せて生徒に発信しています。誰かの役に立っていることが認められてうれしいと感じるのは、大人も子どもも同じです。この取り組みのように「ありがとう」の気持ちが目に見える形になると、うれしいものです。

<葉っぱのカードの一部を紹介します>

- ・PC、定規、実験器具など多くの物を運んでいると数名の3年生が自発的に「手伝います」言って運んでくれました。ありがとう。
- ・1年担任です。そうじの時間、いつも指示をしていないのに教室のゴミを捨ててくれてありがとう。とても助かっています。
- ・2-2のトイレそうじ中の話。人数が少ない中でしたが、「トイレが臭いのを何とかしよう！」と、洗剤を使い一生懸命、便器や床を磨いてくれる姿に思わず笑みがこぼれました。
- ・新入生体験入学での生徒会役員のパフォーマンスは、素晴らしかったです。新入生たちの不安は一気に吹き飛び、楽しみ、期待が膨らむ体験入学になりました。感激です。
- ・朝、職員室に教室の鍵を取りに来る人たち！！いつもご苦勞様。毎日みんなのために働いてくれてありがとう。

【HAPPY TREE】生徒の「イイところ」が記載された葉っぱが木の枝に貼られています。



5年生のアイデアが商品化に!「猪すじ肉カレー」～東能勢小学校～

東能勢小学校5年生の児童が4年生の時に学習した「とよの未来科」の授業で発案した豊能町の特産品を使ったお土産「しし肉カレー」が、校区内のカレーショップにて、レトルトカレーとして商品化されました。パッケージのラベルは、児童が作成しました。

児童考案【猪すじ肉カレー】パッケージデザイン

地域の教材で学習したことが、地域の活性化につながることを体験した児童は、きっとこれからも豊能町のことを大事にして生きていくことと思います。

